

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版  
 (仮称)井手多賀パーク新築工事 A棟:フレッシュバザール

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40			<b>2.7</b>
1 音環境		1.8	0.15	-	-	1.8
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.50	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.17	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-	
1 昼光率		-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	-	-	
3.3 照度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.50	-	-	
4 空気質環境		2.9	0.25	-	-	2.9
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
4.2 換気		2.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能		-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	建物全体禁煙	5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 生活性</b>			0.30			<b>3.3</b>
1 機能性		3.4	0.40	-	-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画		4.0	0.30	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.50	-	-	
1 広さ感・景観	売場天井高3.6m	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.50	3.0	-	
3 内装計画		3.5	0.30	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	②床材防汚性の高い材料(長尺シート) ④埃の溜まりにくい設計(巾木床材立上げ)(壁掛け式小便器) ⑤風除室内で自動扉が感知しない距離確保(電波スイッチ方式) ⑥大きく異なる床材の接近なし(売場エリア(タイル、長尺シート)、バックヤード(塗床、塩ビタイル)) ⑦外壁面は防汚性の高い塗料を使用(サイディングセラミック塗装)	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水・給湯・雑排水管共B以上使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高4.6m	5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1以上	4.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			<b>2.2</b>	<b>0.30</b>			<b>2.2</b>
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			<b>3.5</b>				
<b>LR1 エネルギー</b>			<b>4.1</b>	<b>0.40</b>			<b>4.1</b>
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI <sub>m</sub> =0.83	3.5	0.20	-	-	3.5
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI <sub>m</sub> =0.70	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源(水・エネルギー)</b>			<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			<b>2.8</b>
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.5	0.60	-	-	2.5
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡材を用いた断熱材を使用していない(グラスウール)	5.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			<b>3.5</b>
1	地球温暖化への配慮	省エネ機器採用	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3
	2.1 大気汚染防止	Nox 50ppm以下	4.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	駐車場・駐輪場の確保、車両出入口3カ所設置	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.33	-	-	
	2 振動		3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	各ガイドラインのチェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

GASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

(仮称)井手多賀パーク新築工事 A棟:フレッシュホール

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0	-	-	○	-	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	1.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	1.0	-	2.0	3.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
屋光率	0.0%	ηAH	-
自然換気有効開口面積率	0.0%	-	-

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

執務スペース	.0m <sup>2</sup> /人	病床	.0m <sup>2</sup> /床	シングル	.0m <sup>2</sup> ツイン	.0m <sup>2</sup>	
コンセント容量	0.0 VA/m <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	
天井高	0 m	-	-	-	-	-	
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%	-	-	-	
想定耐用年数	0 年	-	-	-	-	-	
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-	
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-	
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-	
階高	4.6 m	-	-	-	-	-	
壁長さ比率	10.0%	-	-	-	-	-	
床荷重	2900 N/m <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	
外構緑化指数	3%	建物緑化指数	0%	-	-	-	
空地率	20%	水平投影面積率	3%	地表面対策面積率	2%	舗装面積率	58%
BPI/BPI <sub>m</sub>	0.93	断熱等性能等級	対象外 相当	-	-	-	
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m <sup>2</sup>	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%	-	
-	-	通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%	-	
BPI/BPI <sub>m</sub>	非住宅 0.70	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW
-	-	-	-	蓄電池	.0kW	-	

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	43%	隣棟間隔指標Rw	0.86
地表面対策面積率	2.0%	屋根面対策面積率	0.0%
外壁面対策面積率	0.0%	-	-
見付面積Sb	563m <sup>2</sup>	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	85.15 m
緑地	137m <sup>2</sup>	水面	m <sup>2</sup>
保水性対策面	m <sup>2</sup>	高反射対策面	m <sup>2</sup>
再帰性反射対策面	m <sup>2</sup>	-	-